

## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東  
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 渡邊光潤 TEL 03-6866-0276  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,507	5.7	△97	-	△60	-	△71	-
30年3月期第2四半期	2,373	2.9	△78	-	△43	-	△69	-

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 278百万円 (-%) 30年3月期第2四半期 △35百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△41.44	-
30年3月期第2四半期	△40.38	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,425	3,451	63.6
30年3月期	5,373	3,259	60.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 3,451百万円 30年3月期 3,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
31年3月期	-	0.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,709	5.7	194	26.6	250	16.5	200	89.4	115.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名-、除外 ー社 （社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	1,804,471株	30年3月期	1,804,471株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	78,933株	30年3月期	78,835株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	1,725,622株	30年3月期2Q	1,725,643株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、海外における政治・経済動向の不確実性や地政学的リスクの高まりなどの懸念材料も多く、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境におきましても、オーダーメイドスーツにおける企業間競争は一段と激しさを増し、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループは「安定した利益とキャッシュ・フローを出せる経営基盤の確立」の方針のもと、収益力向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,507百万円（前年同四半期比5.7%増）となりましたが、台風、地震など自然災害による生産活動への影響や制服受注の増加などにより売上総利益率が1.8ポイント悪化し、また将来に向けた販売員の増員もあり、経常損失は60百万円（前年同期は43百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は71百万円（前年同期は69百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### 小売事業

オーダーメイドスーツの売上が比較的順調に推移したことから売上高は増収となり、営業損失は減少となりました。

その結果、売上高は1,368百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント損失3百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

#### 卸売事業

売上高は制服の増加により数量増加となったものの、卸売単価が減少したことによる影響により減益となりました。

その結果、売上高618百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント損失21百万円（前年同四半期は17百万円のセグメント損失）となりました。

#### 受託縫製事業

平成29年7月20日にファクトリー玉野㈱を設立し、紳士コート縫製事業を開始したことにより、受託縫製加工売上高は増収となったもののオーダーメイドコート生産体制への変更や自然災害などの影響による稼働休止等、製造コストの増加により減益となりました。

その結果、売上高1,443百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント損失44百万円（前年同四半期は28百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して52百万円増加し、5,425百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して322百万円減少しました。これは、現金及び預金と受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して374百万円増加しました。主な要因は投資有価証券の時価の増加による337百万円等であります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して139百万円減少し1,973百万円となりました。

これは、主に買掛金等の減少及び前受金の減少（流動負債その他を含む）等によるものであります。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失71百万円の計上をした一方で、剰余金の配当86百万円を行った結果、当第2四半期連結会計期間末の株主資本は、前連結会計年度末と比較して157百万円の減少となりました。

また、その他有価証券評価差額金は349百万円の増加でありました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,540,879	1,322,224
受取手形及び売掛金	621,679	488,388
商品及び製品	202,624	208,903
仕掛品	29,644	18,902
原材料	138,130	157,538
その他	66,946	81,557
貸倒引当金	△643	△394
流動資産合計	2,599,260	2,277,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	221,026	245,913
その他(純額)	363,464	378,590
有形固定資産合計	584,490	624,503
無形固定資産		
のれん	26,609	20,892
その他	15,613	19,239
無形固定資産合計	42,222	40,132
投資その他の資産		
投資有価証券	1,291,182	1,628,940
敷金及び保証金	724,453	720,912
繰延税金資産	23,295	24,112
その他	118,392	119,710
貸倒引当金	△10,289	△10,289
投資その他の資産合計	2,147,034	2,483,387
固定資産合計	2,773,747	3,148,023
資産合計	5,373,008	5,425,143
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	313,661	250,108
未払法人税等	27,542	13,088
ポイント引当金	51,082	47,392
その他	685,390	645,840
流動負債合計	1,077,676	956,429
固定負債		
繰延税金負債	99,312	90,314
役員退職慰労引当金	93,520	97,098
退職給付に係る負債	595,099	583,820
資産除去債務	206,934	207,754
その他	40,756	38,453
固定負債合計	1,035,622	1,017,442
負債合計	2,113,298	1,973,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	499,394	341,596
自己株式	△80,668	△80,836
株主資本合計	3,146,286	2,988,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,423	462,951
その他の包括利益累計額合計	113,423	462,951
純資産合計	3,259,709	3,451,271
負債純資産合計	5,373,008	5,425,143

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,373,299	2,507,679
売上原価	1,139,856	1,250,393
売上総利益	1,233,443	1,257,286
販売費及び一般管理費	1,311,933	1,355,038
営業損失(△)	△78,490	△97,751
営業外収益		
受取利息	118	16
受取配当金	23,587	24,811
受取手数料	7,918	8,172
受取保険金	-	1,715
助成金収入	3,190	2,221
雑収入	1,311	1,967
営業外収益合計	36,126	38,905
営業外費用		
支払利息	273	358
修理費	-	1,183
雑損失	515	-
営業外費用合計	789	1,541
経常損失(△)	△43,153	△60,387
特別損失		
減損損失	16,276	-
特別損失合計	16,276	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,429	△60,387
法人税、住民税及び事業税	10,271	8,602
法人税等調整額	△18	2,526
法人税等合計	10,253	11,128
四半期純損失(△)	△69,682	△71,516
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,682	△71,516

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△69,682	△71,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,179	349,528
その他の包括利益合計	34,179	349,528
四半期包括利益	△35,503	278,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,503	278,012

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,429	△60,387
減価償却費	40,750	43,421
のれん償却額	1,905	5,716
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△334	△248
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,578	3,578
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,718	△11,278
受取利息及び受取配当金	△23,706	△24,828
減損損失	16,276	-
支払利息	273	358
売上債権の増減額(△は増加)	108,993	133,290
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,026	△14,944
仕入債務の増減額(△は減少)	40,443	△63,552
未払金の増減額(△は減少)	△11,718	△6,129
未払消費税等の増減額(△は減少)	△135	△16,574
前受金の増減額(△は減少)	△1,410	△52,010
預り金の増減額(△は減少)	34,685	△13,462
その他	△2,254	△6,409
小計	103,451	△83,461
利息及び配当金の受取額	23,706	24,828
利息の支払額	△273	△358
法人税等の支払額	△35,783	△22,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,100	△81,485
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△40,194	△47,191
無形固定資産の取得による支出	△3,633	△5,515
事業譲受による支出	△60,000	-
投資有価証券の取得による支出	△534	△570
敷金及び保証金の回収による収入	3,930	3,892
敷金及び保証金の差入による支出	△70	△351
その他	△1,061	△1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,564	△51,054
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△88	△168
配当金の支払額	△81,897	△82,825
リース債務の返済による支出	△4,570	△3,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,556	△86,114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△97,020	△218,653
現金及び現金同等物の期首残高	1,352,972	1,540,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,255,951	1,322,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,305,367	612,212	450,856	2,368,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	894,943	894,943
計	1,305,367	612,212	1,345,799	3,263,379
セグメント損失(△)	△8,258	△17,477	△28,882	△54,618

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△54,618
棚卸資産の調整額	△184
その他の調整額	△1,711
全社収益(注1.)	144,413
全社費用(注2.)	△166,389
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△78,490

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

全社資産として事業譲受によるのれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては34,231千円であります。

なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,368,984	618,612	517,968	2,505,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	925,948	925,948
計	1,368,984	618,612	1,443,916	3,431,514
セグメント損失(△)	△3,532	△21,624	△44,878	△70,035

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△70,035
棚卸資産の調整額	1,253
その他の調整額	△969
全社収益(注1.)	144,981
全社費用(注2.)	△172,981
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△97,751

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。